

<近畿> 神戸市立工業高等専門学校（公立）

*****断り*****

図や一部文章は当該高専 HP 及び当該高専が作成する資料より引用

神戸市立工業高等専門学校 HP : <http://www.kobe-kosen.ac.jp/>

2020 年度学校要覧 : http://www.kobe-kosen.ac.jp/koukai/youran/2020_youran.pdf

*アクセス(図は神戸高専 HP より引用)

〒651-2194 兵庫県神戸市西区学園東町 8-3

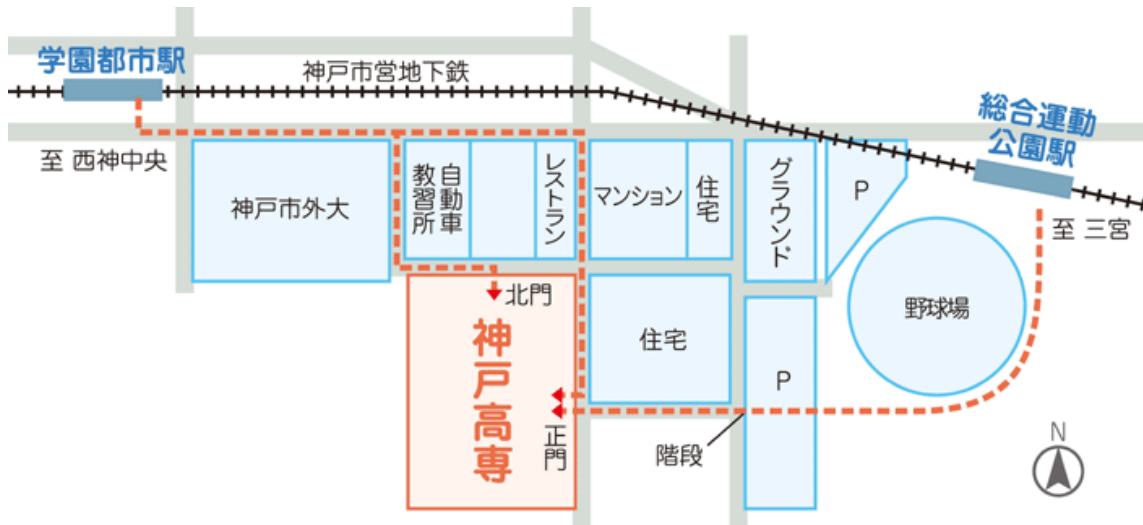


図 1 アクセスマップ

*特色

- ・昭和 38 年に設立
- ・本科は機械工学科、電気工学科、電子工学科、応用化学科、都市工学科から編成されている。
- ・専攻科は機械システム工学専攻、電気電子工学専攻、応用化学専攻、都市工学専攻の 4 専攻で編成されている。

*教育目標・教育理念(一部文章は神戸高専 HP より引用)

1. 本校の使命

本校は、学校教育法の定める高等専門学校として、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成すること、並びにその教育、研究機能を活用して国際港都神戸の産業及び文化の発展向上に寄与することを使命とする。

2. 教育方針

- 人間性豊かな教育

心身の調和のとれた、たくましい感性豊かな人間形成をめざして、教養教育の充実をはかるとともに、スポーツ・文化クラブ等の課外活動を振興する。

■ 基礎学力の充実と深い専門性を培う教育

工学に関する基礎知識と専門知識を身につけ、日進月歩する科学技術に対応し、社会に貢献できる実践的かつ創造的人材を育成する。

■ 国際性を育てる教育

国際・情報都市神戸にふさわしい高専として、世界的視野を持った、国際社会で活躍できる人材を育成する。

3. 養成すべき人材像（準学士課程：5年間）

健康な心身と豊かな教養のもと、工学に関する基礎的な知識を身につけると同時に、創造性も合わせ持つ国際性、問題解決能力を有する実践的技術者を養成する。

■ 機械工学科

数学、自然科学、情報処理技術、計測技術、電気電子技術、加工技術、設計法等の基礎技術を習得し、豊かな一般教養のもと、創造性も合わせ持つ柔軟な思考を有し、設計や製作ができる実践的技術者を養成する。

■ 電気工学科

数学、自然科学、情報処理技術、電磁気学、電気回路、実験等により基礎技術を習得し、豊かな一般教養のもと、創造性も合わせ持ち柔軟な思考ができる実践的技術者を養成する。

■ 電子工学科

数学、自然科学、情報処理技術、エレクトロニクスの基礎技術を習得し、豊かな一般教養のもと、創造性も合わせ持ち、多種多様な課題を解決できる実践的技術者を養成する。

■ 応用化学科

数学、自然科学、情報処理技術に加え、物質の基本を理解し、新しい物質作りに応用できる基礎学力を習得し、豊かな一般教養のもと、創造性も合わせ持ち柔軟な思考ができる実践的技術者を養成する。

■ 都市工学科

数学、自然科学、情報処理技術、構造力学、水理学、土質力学、計画、環境に関する科目に重点をおき、豊かな一般教養のもと、自然や人間に優しい生活環境をデザインするための総合的な技術力、判断力、創造性を合わせ持つ実践的技術者を養成する。

4. 卒業時に身につけるべき学力や資質・能力（準学士課程の学習・教育目標）

(A) 工学に関する基礎知識を身につける。

(A1) 数学

工学的諸問題に対処する際に必要な数学の基礎知識を身につけ、問題を解くことができる。

(A2) 自然科学

工学的諸問題に対処する際に必要な自然科学に関する基礎知識を身につけ、問題を解くことができる。

(A3) 情報技術

工学的諸問題に対処する際に必要な情報に関する基礎知識を身につけ、活用することができる。

(A4) 専門分野

各学科の専門分野における工学の基礎知識・基礎技術を身につけ、活用することができる。

(学科別細目)

(B) コミュニケーションの基礎的能力を身につける。

(B1) 論理的説明

自分の意図する内容を文章及び口頭で相手に適切に伝えることができる。

(B2) 質疑応答

自分自身の発表に対する質疑に適切に応答することができる。

(B3) 日常英語

日常的な話題に関する平易な英語の文章を読み、聞いて、その内容を理解することができる。

(B4) 技術英語

英語で書かれた平易な技術的文章の内容を理解し、日本語で説明することができる。

(C) 複合的な視点で問題を解決する基礎的能力や実践力を身につける。

(C1) 応用・解析

工学的基礎知識を工学的諸問題に応用して、得られた結果を的確に解析することができる。

(C2) 複合・解決

与えられた課題に対して、工学的基礎知識を応用し、かつ情報を収集して戦略を立て、解決できる。

(C3) 体力・教養

技術者として活動するために必要な体力や一般教養の基礎を身につける。

(C4) 協調・報告

与えられた実験テーマに対してグループで協調して挑み、期日内に解決して報告書を書くことができる。

(D) 地球的視点と技術者倫理を身につける。

(D1) 技術者倫理

工学技術が社会や自然に与える影響及び技術者が負う倫理的責任を理解することができる。

(D2)異文化理解

異文化を理解し、多面的に物事を考えることができる。

5.養成すべき人材像（専攻科課程:2年間）

専門分野の知識・能力を持つとともに他分野の知識も有し、培われた一般教養のもとに、柔軟で複合的視点に立った思考ができ、問題発見、問題解決ができる創造性豊かな開発型技術者を養成する。

■機械システム工学専攻

数学、自然科学、情報処理技術、電気電子応用技術、加工技術、設計法等の専門技術を習得し、培われた一般教養のもと、設計や製作において複合的視点で思考、問題発見、問題解決ができる創造性豊かな開発型技術者を養成する。

■電気電子工学専攻

数学、自然科学、情報処理技術、電磁気学、電気回路、エレクトロニクス、実験等により専門技術を習得し、培われた一般教養のもと、柔軟な思考ができ、複合的視点で思考、問題発見、問題解決ができる創造性豊かな開発型技術者を養成する。

■応用化学専攻

数学、自然科学、情報処理技術に加え、物質の基本を十分に理解し、新しい物質作りに応用できる専門学力を習得し、培われた一般教養のもと、柔軟な思考ができ、複合的視点で思考、問題発見、問題解決ができる創造性豊かな開発型技術者を養成する。

■都市工学専攻

数学、自然科学、情報処理技術、構造力学、水理学、土質力学、計画、環境に関連する専門技術に重点を置き、培われた一般教養のもと、柔軟な思考ができ、複合的視点で思考、問題発見、問題解決ができる創造性豊かな開発型技術者を養成する。

6.修了時に身につけるべき学力や資質・能力（専攻科課程の学習・教育目標）

(A) 工学に関する基礎知識と専門知識を身につける。

(A1)数学

工学的諸問題に対処する際に必要な線形代数、微分方程式、ベクトル解析、確率統計などの数学に関する知識を身につけ、問題を解くことができる。

(A2)自然科学

工学的諸問題に対処する際に必要な力学、電磁気学、熱力学などの自然科学に関する知識を身につけ、問題を解くことができる。

(A3)情報技術

工学的諸問題に対処する際に必要な情報技術に関する知識を身につけ、活用することができる。

(A4)専門分野

各専攻分野における工学基礎と専門分野の知識・技術を身につけ、活用することができる。

(専攻別細目)

(B) コミュニケーション能力を身につける。

(B1)論理的説明

技術的な内容について、図、表を用い、文章及び口頭で論理的に説明することができる。

(B2)質疑応答

自分自身の発表に対する質疑に適切に応答することができる。

(B3)日常英語

日常的な話題に関する英語の文章を読み、聞いて、その内容を理解することができる。

(B4)技術英語

英語で書かれた技術的・学術的論文の内容を理解し、日本語で説明することができる。
また、特別研究等の研究に関する概要を英語で記述することができる。

(C) 複合的な視点で問題を解決する能力や実践力を身につける。

(C1)応用・解析

工学基礎や専門分野の知識を工学的諸問題に応用して、得られた結果を的確に解析することができる。

(C2)複合・解決

与えられた課題に対して、工学基礎や専門分野の知識を応用し、かつ情報を収集して戦略を立てることができる。また、複合的な知識・技術・手法を用いてデザインし工学的諸問題を解決することができる。

(C3)体力・教養

技術者として活動するために必要な体力や一般教養を身につける。

(C4)協調・報告

特定の問題に対してグループで協議して挑み、期日内に解決して報告書を書くことができる。

(D) 地球的視点と技術者倫理を身につける。

(D1)技術者倫理

工学技術が社会や自然に与える影響を理解し、また、技術者が負う倫理的責任を自覚し、自己の倫理観を説明することができる。

(D2)異文化理解

異文化を理解し、多面的に物事を考え、自分の意見を説明することができる。

*3つのポリシー(一部文章は神戸高専 HP より引用)

入学者の受入れに関する方針(アドミッションポリシー)

神戸高専は、国際港都“神戸”に立地した神戸市立の唯一の工学系高等教育機関であるという視点に立ち、工学という学問の本質を深く教授し、技術者として必要な実践能力を養うだけでなく、心身の調和と国際性も身につけた技術者を育成することを目指している。

神戸高専は未来の人材を求めている。機械工学、電気工学、電子工学、応用化学、都市工学というそれぞれの専門性を活かしてより良い世界をデザインしていく、そんな学生に門戸を開いている。本校では、以下に示す求める学生像に合う学生を教育方針に従って育てる。また、入学試験は入学者選抜の基本方針に則って実施する。

1. 求める学生像

【本科】

- ・工学に興味を持ち、将来技術者として活躍したいと強く希望を持っていること
- ・論理的に考えることができ、実験や実習に興味を持っていること
- ・数学や理科が得意なこと、英語に関心があること
- ・基礎的な学力を有していること

【本科編入学生】

- ・工学に関する基礎知識を有し、各専門分野（機械工学、電気工学、電子工学、応用化学、都市工学）に強い関心を持っていること
- ・論理的に考えることができ、実験や実習に興味を持っていること
- ・理数系科目が得意なこと、外国語学習に関心があること

【専攻科】

- ・総合的な基礎学力を有し、数学や英語が得意なこと
- ・各専門分野（機械工学、電気工学、電子工学、応用化学、都市工学）の基礎知識を有し、さらに専門性を深めることに熱意を持っていること
- ・他分野の技術にも興味を持ち、複合的な視点で問題発見と問題解決することに意欲的なこと

2. 教育方針

【本科課程】（準学士課程）

本校の本科課程では、健康な心身と豊かな教養のもと、工学に関する基礎的な知識を身につけると同時に、創造性も合わせ持つ国際性、問題解決能力を有する実践的技術者を養成することを目指す。

【専攻科課程】（学士課程）

本校の専攻科課程では、専門分野の知識・能力を持つと共に他分野の知識も有し、培われた一般教養のもとに、柔軟で複合的視点に立った思考ができ、問題発見、問題解決ができる創造性豊かな開発型技術者を養成することを目指す。

教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

1. 本科課程 (準学士課程)

神戸高専の本科課程では、教育課程を学習・教育目標に沿って、以下のように編成している。

- ・一般科目を低学年に多く配置し、学年が進むにつれて専門科目が多くなるようくさび形に授業科目を編成している。
- ・一般科目については、次の3点を基本方針として授業科目を編成している。
 1. 専門科目を学習していく上で必要な基礎的な学力を養うこと。
 2. 心身ともに成長する時期に調和のとれた感性豊かな人間性を養うこと。
 3. 技術者、また社会人として必要とされる幅広い教養と思考力を身につけること。
- ・専門科目については、学科ごとの基本方針のもと授業科目を編成している。

【機械工学科】

機械工学科では、近年の科学技術の進歩に応えるべく、各種機器を開発、設計、製作するために必要な材料力学、熱力学、流体力学、機械力学に関する基礎知識と技術を修得し、コンピュータ利用、計測制御技術、電気電子技術等の分野にも即応できる能力を持った独創的なエンジニアを育成できるように編成している。実習系科目を通して実践的な能力を身につけるとともに、機械工学実験や卒業研究を通して論理的な思考能力や問題解決能力を養えるように系統的に編成している。

【電気工学科】

電気工学科では、現代社会の基盤となる電気エネルギーとそれにより構築された高度産業システムを支えることのできる技術者を養成するため、①材料、電子デバイス②電気エネルギー、機器、設備 ③コンピュータ、計測、制御、通信を 3 本柱とし、グローバルな活躍に必須の工業英語、課題解決力を育む実験実習、学外実習、卒業研究をバランス良く系統的に配置した編成にしており、経済産業省が定める電気主任技術者の国家資格認定基準をも満たしたカリキュラムとなっている。

【電子工学科】

電子工学科では、今後ますます多様化、高度化していくであろうエレクトロニクス分野の第一線で活躍できるように、低学年に電気電子系基礎科目を配置し、それを基礎に高学年では、物性・デバイス系科目、計測・制御系科目、情報・通信系科目をバランスよく配置した5年間の系統的なカリキュラムで学ぶことができるように編成している。また、各科目に関連した実験実習、学外実習、卒業研究などを通して、実践的で創造性豊かなエンジニアを養成できるように教育課程を編成している。

【応用化学科】

応用化学科では、学習教育目標に掲げている5分野（有機化学、無機化学・分析化学、物理化学、化学工学、生物工学）をコアとし、有機的なつながりに配慮したカリキュラムを編成している。また、5分野を学ぶにあたり必要不可欠な基礎としての情報技術に加え、先端分野として着目されているエネルギー、新素材関連、環境問題などもバランス良く修得できるように編成している。さらに、座学で学んだ内容の理解をより深めるために、実験実習や卒業研究を系統的に編成している。

【都市工学科】

都市工学科では、自然環境や人に優しい生活環境をデザインするための総合的な技術力、判断力、創造性を合わせ持つ実践的技術者の養成を目指し、「教育プログラム」と「学習・教育目標」を定め、それらに沿って教育課程を編成している。

情報技術、構造力学、水理学、土質力学、計画・環境保全等の専門講義科目に加え、実験実習、学外実習、卒業研究などの体験的な科目を系統性に配慮した順次性のある体系的な教育課程を編成し、いずれも専門性や学修難易度を考慮して編成している。

2. 専攻科課程（学士課程）

神戸高専の専攻科課程では、教育課程を学習・教育目標に沿って、以下のように編成している。

- ・各専攻の専門展開科目については、各専攻の基本方針のもと準学士課程で修得した工学に関する専門知識の上に、さらに高度な専門的学術を修得するための授業科目を系統性に配慮して編成している。また、特別研究やエンジニアリングデザイン演習などの実習科目をバランスよく配置し、複合的視点で問題を解決する能力や実践力を効果的に養えるように編成している。
- ・専門共通科目については、準学士課程で修得した工学に関する基礎知識をさらに深めるための授業科目と技術者倫理や他分野の知識を修得するための授業科目をバランスよく配置した編成にしている。
- ・一般教養科目については、心身ともに調和のとれた感性豊かな人間性を養うと同時に、技術者、また社会人として必要とされる英語力や現代思想文化論など幅広い教養と思考力を養うための授業科目をバランスよく配置した編成にしている。

【機械システム工学専攻】

機械システム工学専攻では、今後の機械システムのさらなる高度化や精密化を想定した場合に予想される機械工学的な諸問題に対処するために必要な材料力学、熱力学、流体力学、計測・制御工学、ロボット工学、加工技術に加え、生産管理や生産技術に関するより高度な技術を教授し、独創的で論理的な思考能力や問題解決能力を有するとともに、これ

らの技術を活かして生産システムの構築ができる人材を育成している。

【電気電子工学専攻】

電気電子工学専攻では、今後ますます多様化、高度化していくと予想される電気エネルギーを基盤とした高度産業システムやエレクトロニクス分野に対応するために、電磁気学、電気・電子回路論、物性・電子デバイス、計測・制御工学、情報・通信工学、パワーエレクトロニクス等に関するより高度で実践的な技術や知識を修得し、問題解決能力を有する実践的で創造性豊かな人材を育成している。

【応用化学専攻】

応用化学専攻では、今後も進んでいく新素材、新材料の開発やそれらの応用技術、環境問題等に対応するために必要な有機化学、高分子工学、無機化学・分析化学、物理化学、化学工学、生物工学等に関するさらに高度な技術や知識を教授し、化学物質の可能性や潜在的な危険性も理解しながら分析装置等を取扱うとともに設計装置の設計もできるような実践的で問題解決能力も有する人材を育成している。

【都市工学専攻】

都市工学専攻では、今後の暮らしの変化とそれに伴う自然環境の変化にも対応した人に優しい生活環境をデザインするために必要な構造力学、水理学、土質力学、コンクリート工学、施工管理学、環境工学、分析技術、製図・設計技術等のより高度な知識や技術を教授し、自然災害や環境問題の仕組みも理解して施工できるような実践的で、かつ創造性や判断力も併せ持つ人材の育成を目指している。

卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

1. 本科課程 (準学士課程)

神戸高専の本科課程では、一般科目と専門科目を通じて、健康な心身と豊かな教養のもと、工学に関する基礎的な知識を身につけると同時に、創造性も合わせ持つ、国際性と問題解決能力を有する実践的技術者を養成している。そのために学生が卒業時に身につけるべき学力や資質・能力を次の4つの学習・教育目標として設定している。

(A)工学に関する基礎知識を身につける。

(A1)数学

工学的諸問題に対処する際に必要な数学の基礎知識を身につけ、問題を解くことができる。

(A2)自然科学

工学的諸問題に対処する際に必要な自然科学に関する基礎知識を身につけ、問題を解く

ことができる。

(A3)情報技術

工学的諸問題に対処する際に必要な情報に関する基礎知識を身につけ、活用することができる。

(A4)専門分野

各学科の専門分野における工学の基礎知識・基礎技術を身につけ、活用することができる。学科ごとに専門分野（A4）の学習・教育目標を定めている。

(B)コミュニケーションの基礎的能力を身につける。

(B1)論理的説明

自分の意図する内容を文章及び口頭で相手に適切に伝えることができる。

(B2)質疑応答

自分自身の発表に対する質疑に適切に応答することができる。

(B3)日常英語

日常的な話題に関する平易な英語の文章を読み、聞いて、その内容を理解することができる。

(B4)技術英語

英語で書かれた平易な技術的文章の内容を理解し、日本語で説明することができる。

(C)複合的な視点で問題を解決する基礎的能力や実践力を身につける。

(C1)応用・解析

工学的基礎知識を工学的諸問題に応用して、得られた結果を的確に解析することができる。

(C2)複合・解決

与えられた課題に対して、工学的基礎知識を応用し、かつ情報を収集して戦略を立て、解決できる。

(C3)体力・教養

技術者として活動するために必要な体力や一般教養の基礎を身につける。

(C4)協調・報告

与えられた実験テーマに対してグループで協調して挑み、期日内に解決して報告書を書くことができる。

(D)地球的視点と技術者倫理を身につける。

(D1)技術者倫理

工学技術が社会や自然に与える影響及び技術者が負う倫理的責任を理解することができる。

(D2)異文化理解

異文化を理解し、多面的に物事を考えることができる。

これらの学習・教育目標に到達するために、各学科の所定の単位を修得し、かつこれら

の能力と素養を身につけた学生に対して卒業を認定している。

2. 専攻科課程（学士課程）

神戸高専の専攻科課程では、専門共通科目、専門展開科目、一般教養科目による学修を通じて、専門分野の知識・能力を持つと共に他分野の知識も有し、培われた一般教養のもとに、柔軟で複合的視点に立った思考ができ、問題発見、問題解決ができる創造性豊かな開発型技術者を養成している。そのために学生が修了時に身につけるべき学力や資質・能力を次の4つの学習・教育目標として設定している。

(A)工学に関する基礎知識と専門知識を身につける。

(A1)数学

工学的諸問題に対処する際に必要な線形代数，微分方程式，ベクトル解析，確率統計などの数学に関する知識を身につけ，問題を解くことができる。

(A2)自然科学

工学的諸問題に対処する際に必要な力学，電磁気学，熱力学などの自然科学に関する知識を身につけ，問題を解くことができる。

(A3)情報技術

工学的諸問題に対処する際に必要な情報技術に関する知識を身につけ，活用することができる。

(A4)専門分野

各専攻分野における工学基礎と専門分野の知識・技術を身につけ，活用することができる。専攻ごとに専門分野（A4）の学習・教育目標を定めている。

(B)コミュニケーション能力を身につける。

(B1)論理的説明

技術的な内容について，図，表を用い，文章及び口頭で論理的に説明することができる。

(B2)質疑応答

自分自身の発表に対する質疑に適切に応答することができる。

(B3)日常英語

日常的な話題に関する英語の文章を読み，聞いて，その内容を理解することができる。

(B4)技術英語

英語で書かれた技術的・学術的論文の内容を理解し，日本語で説明することができる。また，特別研究等の研究に関する概要を英語で記述することができる。

(C)複合的な視点で問題を解決する能力や実践力を身につける。

(C1)応用・解析

工学基礎や専門分野の知識を工学的諸問題に応用して，得られた結果を的確に解析することができる。

(C2)複合・解決

与えられた課題に対して、工学基礎や専門分野の知識を応用し、かつ情報を収集して戦略を立てることができる。また、複合的な知識・技術・手法を用いてデザインし工学的諸問題を解決することができる。

(C3)体力・教養

技術者として活動するために必要な体力や一般教養を身につける。

(C4)協調・報告

特定の問題に対してグループで協議して挑み、期日内に解決して報告書を書くことができる。

(D)地球的視点と技術者倫理を身につける。

(D1)技術者倫理

工学技術が社会や自然に与える影響を理解し、また、技術者が負う倫理的責任を自覚し、自己の倫理観を説明することができる。

(D2)異文化理解

異文化を理解し、多面的に物事を考え、自分の意見を説明することができる。

これらの学習・教育目標に到達するために、各専攻の所定の単位を修得し、かつこれらの能力と素養を身につけた学生に対して修了を認定している。

*入試形態(一部文章及び URL は神戸高専 HP より引用)

入学者選抜の基本方針

【本科入試】

入学者の選抜は、能力・適性において高等専門学校教育を受けるにふさわしい資質を有する者を、次の2つの方法によって公正に行う。

[令和3年度 学生募集要項](#)

推薦による選抜

学業・人物ともに優秀で、本校への入学意思が強く、志望学科に対して適性・興味及び関心を有する者を対象とし、中学校から提出された推薦書、調査書、面接等により定員の40%程度を選抜する。

学力検査による選抜

本校への入学意思が強く、将来技術者として活躍したいという志を有する者を対象とし、学力検査(国語、数学、英語、理科の4教科)の成績と、中学校から提出された調査書の総合判定により選抜する。

【本科編入試】

第4 学年編入学者の選抜は、能力・適性において高等専門学校^{（1）}の教育を受けるにふさわしい資質を有する者を、次の方法によって公正に行う。

***令和3年度は電気工学科のみ一般選抜による募集を行わない**

[令和3年度 編入学生募集要項](#)

指定校制度による選抜

機械工学科、電気工学科は、本校への編入学実績のある高等学校と協定を結んでいる。高等学校から提出された調査書から推薦条件を満たしているかどうかを書類選考により判定し合格者を決定。

学力検査による選抜

本校への入学意思が強く、将来技術者として活躍したいという志を有する者を対象とし、学力検査（英語、数学、物理・化学又は専門科目）の成績と、小論文、面接、高等学校から提出された調査書の総合判定により選抜する。なお、都市工学科については、高等学校での成績優秀者に対して物理・化学又は専門科目の学力検査を実施せず、面接、調査書を重視する推薦選抜制度がある。

【専攻科入試】

入学者の選抜は、能力・適性において本校専攻科の教育・研究指導を受けるにふさわしい資質を有する高専卒業生、あるいは高専卒業と同等以上の学力を有する者を、次の2つの方法によって公正に行う。

[令和3年度 学生募集要項](#)

推薦による選抜

学業・人物ともに優秀で、本校専攻科への入学意思が強く、志望専攻に対して適性・興味及び関心を有する者を対象とし、推薦書、調査書、面接等の結果を総合して判定する。

学力試験による選抜

本校専攻科への入学意思が強く、将来技術者として活躍したいという志を有する者を対象とし、学力試験（数学、英語（TOEIC スコアによる換算）、専門科目）の成績と調査書、面接（口頭試問を含む）等の結果を総合して判定する。

***試験状況及び偏差値や倍率(表は神戸高専 HP より引用)**

偏差値

電気工学科 65

電子工学科 65

応用化学科 64

都市工学科 64

機械工学科 62

過去のデータ

【本科入試】

令和 2 年度入試

学科	募集 人員	推薦志願者	学力志願者	学力受検者	合格者	倍 率
機械工学科	80	68 (5)	122 (8)	90 (6)	80 (8)	1.5
電気工学科	40	51 (8)	78 (9)	62 (4)	40 (6)	2.0
電子工学科	40	36 (9)	65 (11)	47 (5)	40 (8)	1.6
応用化学科	40	45 (23)	75 (28)	58 (19)	40 (19)	1.9
都市工学科	40	42 (14)	78 (20)	63 (15)	40 (9)	2.0
計	240	242 (59)	418 (76)	320 (49)	240 (50)	1.7

※()内は女子で内数

平成 31 年度入試

学科	募集 人員	推薦志願者	学力志願者	学力受検者	合格者	倍 率
機械工学科	80	62 (4)	119 (4)	83 (1)	80 (3)	1.4
電気工学科	40	41 (8)	78 (13)	60 (10)	40 (8)	1.9
電子工学科	40	61 (7)	93 (10)	77 (8)	40 (4)	2.3
応用化学科	40	39 (18)	69 (23)	51 (14)	40 (14)	1.7
都市工学科	40	30 (9)	48 (13)	31 (9)	40 (11)	1.2
計	240	233 (46)	407 (63)	302 (42)	240 (40)	1.7

※()内は女子で内数

平成 30 年度入試

学科	募集 人員	推薦志願者	学力志願者	学力受検者	合格者	倍 率
機械工学科	80	78 (4)	135 (5)	100 (2)	80 (3)	1.7
電気工学科	40	37 (5)	51 (6)	33 (3)	40 (4)	1.3
電子工学科	40	42 (5)	76 (5)	60 (3)	40 (4)	1.9
応用化学科	40	48 (25)	68 (26)	53 (17)	40 (18)	1.7
都市工学科	40	43 (5)	71 (13)	55 (9)	40 (6)	1.8
計	240	248 (44)	401 (55)	301 (34)	240 (35)	1.7

※()内は女子で内数

平成 29 年度入試

学科	募集 人員	推薦志願者	学力志願者	学力受検者	合格者	倍 率
機械工学科	80	69 (7)	120 (10)	87 (5)	80 (9)	1.5
電気工学科	40	31 (4)	61 (5)	45 (3)	40 (3)	1.5
電子工学科	40	59 (5)	100 (9)	82 (6)	40 (5)	2.5
応用化学科	40	32 (18)	45 (20)	29 (7)	40 (20)	1.1
都市工学科	40	30 (10)	51 (11)	36 (4)	40 (12)	1.3
計	240	221 (44)	377 (55)	279 (25)	240 (49)	1.6

※()内は女子で内数

平成 28 年度入試

学科	募集 人員	推薦志願者	学力志願者	学力受検者	合格者	倍 率
機械工学科	80	62 (4)	109 (6)	76 (3)	80 (5)	1.4
電気工学科	40	37 (4)	63 (5)	47 (2)	40 (4)	1.6
電子工学科	40	27 (2)	53 (4)	36 (2)	40 (3)	1.3

応用化学科	40	36 (15)	54 (17)	38 (9)	40 (13)	1.4
都市工学科	40	40 (9)	60 (11)	41 (7)	40 (8)	1.5
計	240	202 (34)	339 (43)	238 (23)	240 (33)	1.4

※()内は女子で内数

【本科編入試】

令和2年度編入試

学科	志願者			合格者		
	工業科	普通科	合計	工業科	普通科	合計
機械工学科	5 (0)	0	5 (0)	3 (0)	0	3 (0)
電気工学科	2 (0)	0	2 (0)	1 (0)	0	1 (0)
電子工学科	4 (0)	0	4 (0)	1 (0)	0	1 (0)
応用化学科	1 (0)	0	1 (0)	1 (0)	0	1 (0)
都市工学科	1 (0)	0	1 (0)	0	0	0
合計	13 (0)	0	13 (0)	6 (0)	0	6 (0)

※ () 内は女子で内数。

平成31年度編入試

学科	志願者			合格者		
	工業科	普通科	合計	工業科	普通科	合計
機械工学科	4 (0)	0	4 (0)	3 (0)	0	3 (0)
電気工学科	5 (0)	0	5 (0)	1 (0)	0	1 (0)
電子工学科	3 (0)	0	3 (0)	3 (0)	0	3 (0)
応用化学科	2 (0)	1 (0)	3 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)
都市工学科	志願者無し					
合計	14 (0)	1 (0)	15 (0)	8 (0)	1 (0)	9 (0)

※ () 内は女子で内数。

平成 30 年度編入試

学科	志願者			合格者		
	工業科	普通科	合計	工業科	普通科	合計
機械工学科	4 (0)	0	4 (0)	3 (0)	0	3 (0)
電気工学科	3 (0)	0	3 (0)	1 (0)	0	1 (0)
電子工学科	3 (0)	1 (1)	4 (1)	2 (0)	1 (1)	3 (1)
応用化学科	4 (0)	0	4 (0)	2 (0)	0	2 (0)
都市工学科	募集無し					
合 計	14 (0)	1 (1)	15 (1)	8 (0)	1 (1)	9 (1)

※ () 内は女子で内数。

平成 29 年度編入試

学科	志願者			合格者		
	工業科	普通科	合計	工業科	普通科	合計
機械工学科	0	0	0	0	0	0
電気工学科	2 (0)	1 (0)	3 (0)	2 (0)	0	2 (0)
電子工学科	4 (0)	0	4 (0)	1 (0)	0	1 (0)
応用化学科	5 (0)	0	5 (0)	2 (0)	0	2 (0)
都市工学科	2 (0)	0	2 (0)	2 (0)	0	2 (0)
合 計	13 (0)	1 (0)	14 (0)	7 (0)	0	7 (0)

※ () 内は女子で内数。

平成 28 年度編入試

学科	志願者			合格者		
	工業科	普通科	合計	工業科	普通科	合計
機械工学科	4 (0)	0	4 (0)	3 (0)	0	3 (0)

電気工学科	1 (0)	0	1 (0)	1 (0)	0	1 (0)
電子工学科	0	0	0	0	0	0
応用化学科	1 (0)	1 (1)	2 (1)	1 (0)	1 (1)	2 (1)
都市工学科	0	0	0	0	0	0
合 計	6 (0)	1 (1)	7 (1)	5 (0)	1 (1)	6 (1)

※ () 内は女子で内数。

【専攻科入試】

令和2年度入試

専攻名	募集 人員	推薦選抜		学力選抜		
		受験 者数	合格者数	受験者数	合格者数	
					A方式	B方式
機械システム工学専攻	8	9	7	7	3	3
電気電子工学専攻	8	9	7	15	5	3
応用化学専攻	4	3	3	5	2	2
都市工学専攻	4	5	3	4	3	1
合計	24	26	20	31	13	9

令和元年度入試

専攻名	募集 人員	推薦選抜		学力選抜		
		受験 者数	合格者数	受験者数	合格者数	
					A方式	B方式
機械システム工学専攻	8	8	7	10	3	2
電気電子工学専攻	8	11	7	13	5	3
応用化学専攻	4	5	3	4	3	1
都市工学専攻	4	4	3	4	3	1

合計	24	28	20	31	14	7
----	----	----	----	----	----	---

平成 30 年度入試

専攻名	募集 人員	推薦選抜		学力選抜		
		受験 者数	合格者数	受験者数	合格者数	
					A 方式	B 方式
機械システム工学専攻	8	6	6	18	6	3
電気電子工学専攻	8	6	6	15	1	6
応用化学専攻	4	6	3	5	3	1
都市工学専攻	4	3	3	4	2	1
合計	24	21	18	42	12	11

平成 29 年度入試

専攻名	募集人員	前期入試		後期入試	
		受験者数	合格者数	受験者数	合格者数
機械システム工学専攻	8	9 (1)	7 (0)	8 (1)	8 (1)
電気電子工学専攻	8	15 (0)	13 (0)	2 (0)	2 (0)
応用化学専攻	4	7 (2)	3 (1)	3 (1)	3 (1)
都市工学専攻	4	5 (0)	2 (0)	3 (0)	1 (0)
合計	24	36 (3)	25 (1)	16 (2)	14 (2)

※ () 内は女子で内数。

平成 28 年度入試

専攻名	募集人員	前期入試		後期入試	
		受験者数	合格者数	受験者数	合格者数
機械システム工学専攻	8	7 (1)	4 (0)	3 (0)	3 (0)
電気電子工学専攻	8	9 (1)	5 (0)	5 (0)	5 (0)

応用化学専攻	4	7 (0)	7 (0)	0 (0)	0 (0)
都市工学専攻	4	3 (0)	1 (0)	5 (1)	2 (1)
合計	24	26 (2)	17 (0)	13 (1)	10 (1)

※ () 内は女子で内数。

*卒業後の進路状況(URL は神戸高专 HP より引用)

[平成 31 年度 卒業生・修了生 求人求職・進学状況](#)

[平成 30 年度 卒業生・修了生 求人求職・進学状況](#)

[平成 29 年度 卒業生・修了生 求人求職・進学状況](#)

[平成 28 年度 卒業生・修了生 求人求職・進学状況](#)

[平成 27 年度 卒業生・修了生 求人求職・進学状況](#)

[平成 26 年度 卒業生・修了生 求人求職・進学状況](#)

[平成 25 年度 卒業生・修了生 求人求職・進学状況](#)